

G101		農業と農学の最前線	
英名科目名	Forefront of Agriculture and Agricultural Science		
大学名	京都大学		
連絡先	農学部学部長事務掛 TEL:075-753-6436 FAX:075-753-6005		
担当教員	農学研究科 教授 中崎鉄也 農学研究科 准教授 中野龍平 農学研究科 助教 西村和紗、元木航、山崎 彬		
開講期間	2021年05月22日(土)～2021年10月23日(土)予定 3～5講時(指定の土曜日) Covid-19の状況その他の状況によっては予定の変更あるいは中止となる場合があります。		
開講形態	通年	開講曜日・講時	
単位数	1	履修年次	全回生
会場	その他特記事項参照		
授業定員			
単位互換生定員	5	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	最終日に実施する試験の成績と平常点評価により評価する。なお、それぞれの比率は25%、75%を目安とする。平常点評価は、全ての講義・実習へ取り組む姿勢の評価を含む。		
超過時の選考方法	志望理由をもとに選考する。		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>本科目は京都大学農学研究科附属農場(京都府木津川市城山台4-2-1)で開講する実習およびZoo m講義である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生の実験・実習を対象とする学生保険に加入していること。 ・農作業を行うので、作業に適した服装、帽子、長靴、タオルおよび着替え等を準備すること。 ・現地集合、現地解散とし、交通費は各自負担すること。 ・'農場実習と講義'の日は午後1時(予定)から実習を開始するため、それまでに木津農場に集合すること。 ・自家用車、二輪車(バイク)による来場は認めない。 ・実習開始までに実習に関する連絡をメールにておこなうので、登録したメールアドレスのメールを常に確認すること。 		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>本科目では、世界人口の急激な増加や温暖化と平行して頻発する異常気象など人類社会の持続可能性が危惧される中、生存の基盤である食料生産について、座学による知見の習得のみならず、農業生産の実相を体感することによって農業に関わる様々な事項をより深く理解するための基盤的な知識と技術を習得することを目的とする。さらに、多様な経験を有する社会人たちと共同で課題をこなす機会を提供することによって、受講生が様々な考え方を吸収し、その思考の幅が広がる場となることも目指す。</p> <p>(到達目標)</p> <p>農業と農学に関する基礎的知識と最新情報を学ぶとともに、農作物の生産に関わる基礎的な技術を取得する。さらに、多様な経験を有する社会人とともに食用作物や園芸作物の栽培実習を受講することによって、多様な視点で農業や農学を考える視座を涵養する。</p>			
講義スケジュール			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 5月22日 [オンライン] ガイダンスと講義(稲作の現状と未来) 2. 6月5日 農場実習と講義(野菜栽培と球肥大・花成の生理)「タマネギの収穫、調整」 3. 7月16日 農場実習と講義(花卉栽培と園芸作物の草姿コントロール技術)「シクラメンの葉組み、切り花ダリアの整枝・収穫」 4. 10月16日 農場実習と講義(果樹栽培と農産物の収穫後選別・調整の基礎と最前線)「カキの収穫、非破壊品質評価、脱渋」 5. 10月23日 [オンライン] まとめの講義・試験 			

教科書	授業でプリントを配布する。
参考書	授業中に紹介する